

(様式3)

目標達成計画

事業所名

作成日：平成 年 月 日

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	地域や利用者のニーズ、状況変化によって現状にあった事業所独自の理念を作り上げ、理念がケアに反映されあていく事を期待したい。 ⇒開設時に作成した理念である為、現状のリスクマネジメントなども取り入れた理念を検討する機会を持つ事が必要である。	•毎年度末には、目標の振り返りと共に理念の振り返りも行う事で、現状に見合った理念の下ケアの推進ができるようになる。	•年度末の目標の振り返りの際に理念の振り返りも行う。 •検討のもと、必要であれば変更をかけるが、現状の課題は基本方針と連動し毎年取り組んでいるため、それは継続する。 •法人の理念は変更せず基本は「自らが受けたいと思う医療・福祉を創造する」	6ヶ月
2	3	会議で出された事項についての話し合いや活かし方については、地域で一緒に考えていくうえでも、今後はより多くの利用者、家族参加のを得て、更なるサービス向上に活かしていかれることを期待したい。 ⇒開催の方法や場所や参加者の再検討が必要である。	•今年度より多くの地域住民及びお客様(利用者)に運営推進会議に参加していただく事ができる。	•行事などを取り入れた話しやすい雰囲気での会議開催 •地域の公民館など事業所以外の場場所での開催 •入所者懇談会などを活用し、その意見を代表者が会議でお伝えするなどの意見を吸い上げる仕組みを作る。	12ヶ月
3	18	本人の行きたい場所への外出支援はその人らしい暮らしを保ち、本人の意欲や自立を保つためにも大切なことであるので、安全面への配慮と見守りのもと継続される事を期待したい。 ⇒現在も安全面への配慮と見守りを行いながらケアプランへ反映しているが、状態変化に伴うアセスメントの対応を要する。	アセスメントを充実させ、リスクマネジメントも詳しく記載した上でのケアプランを作成し、日常的に外出ができる生活を提供していく。	•現在のケアマネジメントの継続を行い、アセスメントをもとに個人にあった見守りや付き添いの方法で支援していく。(過剰な見守りや付き添いは行わない) •携帯電話の使用方法方法も家族などに確認を取りながら継続していく(現状でも実施している)	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月